

3. 住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会 ヒアリング

(1)活動上の課題

- 地縁組織とのつながりについて、介護保険では、包括や民生委員と連携を取り合って実施しているが、有償サービスの場合は、地域との繋がりはほとんどない。
- 住民参加型団体は、地区社協や民生委員等地域との繋がりが薄いので、繋がりを持てる機会があると良いと思う。
- ボランティアをやりたいと思っている人に団体を紹介したいが、自分たちのような活動は、なかなか周囲に理解されないところがある。あおぞらサービスの協力会員は、「社協の」という付加価値がついているように自分たちの団体にも、このような付加価値が付いたらよいと思う。自分たちの活動を認めてもらえる何かがあるとやりがいも増すと思う。
- 今後サービス利用者が増えていくと担い手が不足してくると危惧している。
- 統合失調症の方などは、サービスを利用したくても受けてもらえるところが少なく苦労していると聞いている。

(2)市社協事業「あおぞらサービス」について

- あおぞらサービスについて、社協ならではという内容を実施してほしい。
- あおぞらサービスに登録している協力会員に他団体にも登録できることを広く周知してほしい。

(3)さいたま市社会福祉協議会に期待すること

- 住民参加型在宅福祉サービス団体は、赤字になってしまうような活動が多い。
現在、活動している団体が、休止とにならないようにするための支援をしてほしい。
登録している人を効率的にまわしていくなど、地域で支え合い活動を仕組みとしてつくってほしい。地域で暮らしていて、本当に困ったときに誰が助けるのか、地域包括ケアシステム構築の実現をどう進めていくのかが重要なところと考えている。
- 市社協広報誌「ぽけっと」等を通し、住民参加型団体の協力会員募集を呼び掛けてもらえるとうい。

(4)その他

- 市内ではシニア大学など、勉強している方はたくさんいるが、住民参加型団体などへの加入には繋がっていないところが残念に思う。